

第6回 生態系保持空間の変化を知る編一点検の結果

生態系保持空間について

●主な意見

- ・生態系保持空間(⑧空間)の環境は、治水と環境を調整しながら大切に保全されていると感じる。
- ・外来種が多いことや、ラジコン飛行場など不法行為がみられ、生態系保持空間の意味が薄れている。
- ・看板がなく、入っては行けないところだとわからない。
- ・クズの除去と有効利用を考えてはどうか。



◎点検からいえること

- ・自然を感じることができる空間と評価される方もいれば、外来種や不法行為が目立つため保全のための管理が行き届いていないと感じる方もいらっしゃいました。

河道整正の事業について

●主な意見

- ・環境と治水をかんがえ、川の流れる幅が広くなり、局所洗掘を防止できることは良い。
- ・高水敷と水が流れる場所の落差が大きいので、治水を考えると高水敷をもっと下げるべきではないか？
- ・局所的な改修で良いのか？
- ・まだ事業の効果がわからない。
- ・元の姿に戻ったように思う。



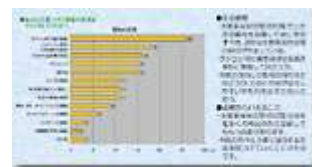
◎点検からいえること

- ・参加者の方々に、事業の目的や必要性を理解して頂くことができました。
- ・整備は成功していると感じられる方から、治水と環境の両立は無理とお考えの方まで幅広い意見があることがわかりました。また、日頃から事業に関する情報を市民の方々と共有することで、共に多摩川の将来を考えていきたいです。

生態系保持空間(⑧空間)の問題について

●主な意見

- ・生態系保持空間(⑧空間)だとわかる看板を設置して皆に周知すべき。現在は生態系保持空間の説明が不足している。
- ・ラジコン飛行機を飛ばせる場所を別に整備してはどうか。
- ・市民と協力した監視の強化などはどうか。行政と市民が協力しやすいやり方を示すと良いと思う。



◎点検からいえること

- ・生態系保持空間(⑧空間)の存在を多くの市民の方に理解してもらう必要があります。
- ・市民の方々とうまく協力する方法を見つけていくことが大切です。

生態系保持空間(⑧空間)を見た感想

●主な意見

- ・外来種の排除など適度な対策を行う。
- ・人の立ち入りをある程度許し、草が茂りすぎないように刈るなど里山的な管理を行う。
- ・マナー違反の行為は取り締まる。



◎点検からいえること

- ・参加者の方々には、生態系保持空間(⑧空間)の価値をご理解頂けたようです。
- ・今後の生態系保持空間(⑧空間)をPRすると共に、市民の方々と連携した保全やマナー違反の監視を行うことを検討していきたいと思います。本来の多摩川の姿を考えて頂く、良い機会になりました。